

## 第4回 勢田川流域等浸水対策協議会

【日 時】平成31年2月26日（火）14:00～15:00

【場 所】伊勢市防災センター 防災研究室1

【出席者】別紙の通り

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

### 3. 議 事

(1) 勢田川流域等浸水対策実行計画の進捗状況について . . . 資料1

1) 伊勢市

2) 三重県

3) 国土交通省三重河川国道事務所

(2) 勢田川流域等浸水対策実行計画の今後の取り組みについて . . . 資料2

1) 伊勢市

2) 三重県

3) 国土交通省三重河川国道事務所 . . . 資料3

(3) その他

### 4. 閉 会

## 1. 開 会

「勢田川流域等浸水対策協議会」を開会した。

## 2. 挨拶

### 伊勢市長

去年は、全国各地で記録的な猛暑に襲われ、西日本豪雨や北海道胆振東部地震など自然災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられた年だった。

伊勢市においては、南海トラフ地震や津波への備えも急務となっており、ハード対策だけでなく、ハザードマップを用いて、避難経路や避難場所を確認するといった、防災の日常化の重要性を感じている。

昨年6月に開催した第3回の協議会では、平成29年10月の台風第21号の浸水被害軽減対策の実行計画を策定し、国土交通省、三重県、伊勢市が連携し、様々な対策を一体的に取り組むことを各機関で共有出来た。

本日開催の第4回目の協議会では、『勢田川流域等浸水対策実行計画』について、現在の進捗状況および今後の取り組みについてご協議いただき、PDCAサイクルを回しながら、早期に目標を達成したいと考えている。

### 3. 議 事

#### (1) 勢田川流域等浸水対策実行計画の進捗状況について

各機関から配布資料 1 により説明を行った。

##### 伊勢市

- ・平成 30 年 8 月に勢田川に 7 箇所の逆流防止フラップ弁を設置完了
- ・平成 31 年 3 月に桧尻川・桧尻川支川、清川に危機管理型水位計を設置予定
- ・雨水排水施設の整備計画を策定
- ・流域関連伊勢市公共下水道の全体計画の見直しを実施中
- ・伊勢市上下水道事業審議会において、流域関連伊勢市公共下水道事業計画（第 5 期）承認
- ・汁谷川排水機場耐水化の委託を検討中
- ・耐水化・施設関係工事を平成 31 年 1 月～7 月に予定
- ・伊勢市防災大学の開催
- ・ワークショップを合計 9 回開催

##### 三重県

- ・桧尻川県管理区間の河道断面を増やすため、河道掘削を実施中
- ・勢田川（指定区間）、桧尻川、汁谷川洪水浸水想定区域図を平成 31 年度に公表のため、作成中
- ・勢田川（指定区間）、桧尻川に危機管理型水位計を設置完了

##### 三重河川国道事務所

- ・北新橋右岸下流部（右岸 3.9k）、JR 参宮線勢田川橋梁部（左右岸 4.6k）の緊急的な堤防かさ上げ（特殊堤防設置）を H30.9 月に整備完了
- ・勢田川の水位を下げるため、河道断面を増やすための掘削を実施中
- ・勢田川において、危機管理型水位計を平成 29 年度に設置して運用を開始  
宮川本川においても平成 30 年度中の設置を予定
- ・洪水情報のプッシュ型配信を平成 30 年 5 月 1 日から開始

#### (2) 勢田川流域等浸水対策実行計画の今後の取り組みについて

各機関が配布資料 2 により説明を行った。

##### 伊勢市

- ・汁谷川と菱川に危機管理型水位計を平成 31 年 5 月に設置予定
- ・平成 31 年度に流域関連伊勢市公共下水道事業計画変更（3 排水区事業化）し、事業着手
- ・平成 31 年度伊勢市防災大学の開催予定
- ・ワークショップの開催予定
- ・神宮周辺の交通渋滞対策としてパーク & バスライドの駐車場整備予定（国・県の発生土砂の運搬先として実行計画の推進を連携）

## 三重県

- ・ 桧尻川の河道断面を増やすための掘削を引き続き実施
- ・ 汁谷川の整備計画の策定予定

## 三重河川国道事務所

- ・ 勢田川の水位を下げるため、河道断面を増やすための掘削を引き続き実施（土砂運搬先は、パーク&バスライドの駐車場整備へ搬出）
- ・ 桧尻川ポンプ場増強の工事实施のための設計中

## (3) その他

事務局より本協議会のプロジェクト名とロゴマークについて提案がなされ、承認された。

- ・ プロジェクト名  
勢田川流域等浸水対策緊急プロジェクト

- ・ ロゴマーク



## 4. 閉会

### 三重河川国道事務所長

勢田川の河道掘削の残土処理については、伊勢市事業（パーク&バスライドの駐車場整備）と連携していくことで、国にとっても、伊勢市にとっても、地域にとっても良い方向であり、協議会が機能する良い例である。

今後も市・県・国のつながりを有効的に活用し、事業を進めていきたい。

### 三重県県土整備部次長代理河川課課長補佐

ハード対策については、できるだけ早期に完了するよう引き続き推進していきたい。ソフト対策についても継続していきたい。危機管理型水位計の使い方も周知徹底していきたい。

### 伊勢市長

第4回 勢田川流域等浸水対策協議会を開催し、現在の進捗状況および今後の取り組みについてご協議した。

国、県の皆様におかれましては、浸水対策実行計画の策定後、勢田川の緊急的

な堤防かさ上げや河道掘削、危機管理型水位計の設置、洪水浸水想定区域図の策定など着実に計画に基づいた対策を進めていただき、今後に向けて関係各位との結束をさらに固めることができたと感じている。

市としても、一日でも早く災害に強い安全安心なまちづくりを進めていきたいと考えているので、引き続き連携し、対策の実施を進めていただき、この協議会が市民の皆様の安心したまちづくりの実現に繋がるよう尽力していきたい。

本日はありがとうございました。

「勢田川流域等浸水対策協議会」を閉会した。